

項目	内容
名称	ヒメリュウキンカ、オウシュウキンポウゲ [英]Lesser Celandine、Celidonia Menor、Ficaria、Figwort、Pilewort [学名]Ranunculus ficaria
概要	ヒメリュウキンカは西アジア、北アフリカ、ヨーロッパ原産のキンポウゲ科の多年草。高さ15～30 cm程度に生長する。主に地上部が用いられ、葉鞘がサラダなどに利用されることもある。
法規・制度	■食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ アネモニン (33)、サポニン (33)、タンニン (33) を含む。 ・ 乾燥することによりプロトアネモニンは代謝されるため、乾燥物にプロトアネモニンは含まれない (33)。
分析法	-

有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ
(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ
(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson